

住民こそ主人公・住民のための市政を

明日の相模湖

No. 870

2021年9月12日

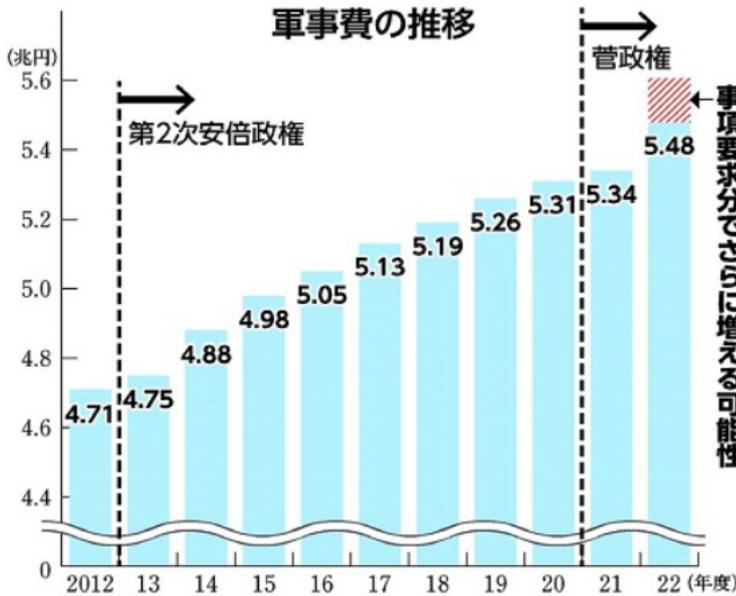
発行：日本共産党相模湖支部

住所：相模原市緑区寸沢嵐794-3

宮崎あき子気付

電話：042(685)1046

mail：jcpsagamiko@gmail.com



9/1付「しんぶん赤旗」より

沖縄県名護市辺野古の新基地建設など米軍再編経費

す。76億円から倍増していま

1047億円と前年度の5

に代わる次期戦闘機開発も

1億円)と倍増。また、F2

年度2機から4機(521

億円)と倍増。また、F2

から発着可能なF35Bも前

年度2機から4機(521

億円)と倍増。また、F2

に代わる次期戦闘機開発も

1047億円と前年度の5

に代わる次期戦闘機開発も

2022年度予算

軍事費削って医療に回せ!

防衛省概算要求 コロナ禍でも8年連続最大をねらう

防衛省は2022年度予算の概算

要求で5兆4797億円を計上しま

した。過去最大だった前年度予算の

5兆3422億円を1374億円も

上回っています。

軍事費は安倍晋三前政権の下で2

013年度から右肩上がりの増額が

続いています。10年連続で前年度を

上回り、8年連続で過去最

大の更新をねらっています。

内訳をみると、米国製F

35Aステルス戦闘機の取

得が前年度の4機から8機

(779億円)、護衛艦か

ら発着可能なF35Bも前

年度2機から4機(521

億円)と倍増。また、F2

に代わる次期戦闘機開発も

1047億円と前年度の5

膨れ上がります。

新型コロナウイルスの感染拡大で

いま医療が崩壊状態になっており、

「軍事費を削って医療に回せ」とい

う声が大きくなっています。こうし

た国民の声を踏みにじり、米国製武

器を爆買いし、国民生活関連予算を

圧迫する軍事費のさらなる増額は到

底認められません。

軍事力で平和は守れない

「世界最高水準の米国の兵器があれ

ば戦争に勝てる、国を守る」とい

う発想は幻想であることが、米軍の

アフガニスタン撤退で白日のもとに

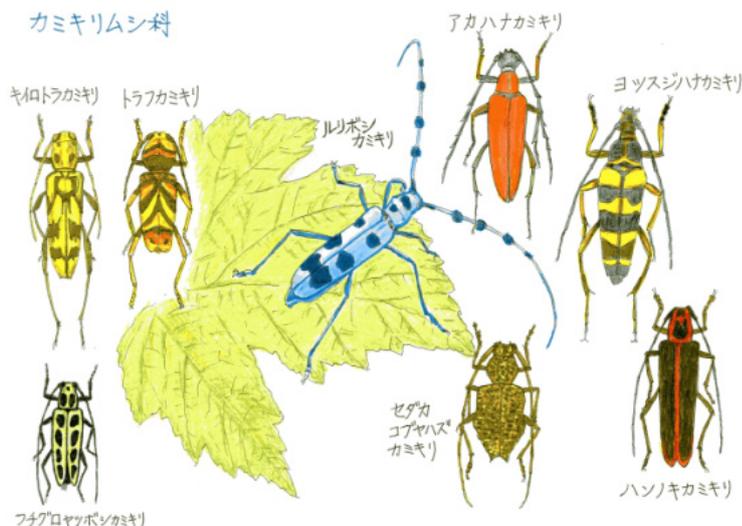
さらされました。

自公政権の軍事力一辺倒・米国依

存の体制から脱却し、外交の力を中

心とした平和構築がいまこそ求めら

れています。



自然観察シリーズ
NO. 539
昆虫 [3]

カミキリムシの魅力

甲虫目 カミキリムシ科

カミキリムシは、樹木を枯らしたりする害虫というイメージもありますが、日本には800種類以上も知られる大きなグループです。すべての種類が樹木・竹・草を幼虫は食べて成虫にな

ります。長い触角と適当に堅い体で、捕まえると首をこすり合わせて、ギーギーとかチーチーという音を出すのも特徴です。

日本は南北に長いので樹木の種類が多く、それぞれの樹木や草や竹にそれぞれ依存しているカミキリムシが多いわけです。

その中でルリボシカミキリはコバルトブルーの体に黒い模様があり、触角の節々に黒い毛の房が付いている美麗種です。最近見られる機会が多くなってきました。ハナカミキリ類は成虫は花に集まって花粉や蜜を食べています。トラカミキリ類は縞模様がスズメバチを思わせ、枯木上をハチのような動きで歩いています。

カミキリムシは昆虫の中でもフアンの多い虫で、私も見たい種類もまだいろいろあり、ノドから手が出そうな種類もたくさんあります。

(もう一つ子供の頃、炭焼きの手伝いで割った太い木から出てきた大型種のシロスジカミキリの幼虫を串に刺して火で焼いて食べた味は非常に美味だった事を思い出しました。)

自然観察シリーズ 別冊第9号完成



「明日の相模湖」に掲載された『自然観察シリーズ・植物』のNo.473〜536までを別冊第9号としてまとめました。

毎回投稿いただいている「相模湖自然友の会」の杉本清文さんは植物や昆虫に関して大変造詣が深く、詳細に描かれた見事な絵とともに、説明文もわかりやすく「毎回楽しみにしています」という声をたくさんいただいています。

300円で頒布しています。ご希望の方は、「明日の相模湖」の配布担当者、または左記までお申込み下さい。

【電話】685-1046 宮崎